

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 25 年 4 月 4 日 (2013.4.4)

【公開番号】特開 2011-205524 (P2011-205524A)

【公開日】平成 23 年 10 月 13 日 (2011.10.13)

【年通号数】公開・登録公報 2011-041

【出願番号】特願 2010-72423 (P2010-72423)

【国際特許分類】

H 0 4 N 5/74 (2006.01)

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/74 D

G 0 3 B 21/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 2 月 15 日 (2013.2.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

【図 1】プロジェクター装置の制御構成を示すブロック図である。

【図 2】(a) は、台形歪補正処理前の光変調素子の表示可能領域の画像および投写画像を示す図であり、(b) は、台形歪補正処理後の光変調素子の表示可能領域の画像および投写画像を示す図である。

【図 3】(a) は、操作パネルの正面図であり、(b) は、位置調節用つまみの拡大斜視図である。

【図 4】プロジェクター装置のリモコンを模式的に表した斜視図である。

【図 5】プロジェクター装置の投写処理を示すフローチャートである。

【図 6】(a) は、縦方向における位置調整処理前の光変調素子の表示可能領域の画像および投写画像を示す図であり、(b) および (c) は、位置調整処理後の光変調素子の表示可能領域の画像および投写画像を示す図である。

【図 7】(a) は、横方向における位置調整処理前の光変調素子の表示可能領域の画像および投写画像を示す図であり、(b) および (c) は、位置調整処理後の光変調素子の表示可能領域の画像および投写画像を示す図である。

【図 8】(a) は、縦横方向における位置調整処理前の光変調素子の表示可能領域の画像および投写画像を示す図であり、(b) は、位置調整処理後の光変調素子の表示可能領域の画像および投写画像を示す図である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 6】

図 8 は、投写画像 2 0 0 の縦横台形歪を補正した後の、投写画像 2 0 0 および光変調画像 1 0 0 を示している。図示の光変調画像 1 0 0 は、右方向に移動可能である。位置調整部 2 2 は、ユーザーによる操作部 1 6 の操作に応じて光変調画像データを補正して、光変調画像 1 0 0 (補正後画像領域 5 1) を有効領域 5 0 で左右方向に移動させる。この光変

調画像 1 0 0 の移動により、投写画像 2 0 0 も図示のように左右方向に移動する。このとき、位置調整部 2 2 は、光変調画像 1 0 0 を、有効領域 5 0 内において 2 頂点（点 A 3 および点 B 3 ）を内接させたまま、また、サイズおよび形状を保持したまま移動させる。なお、実際には、図 8 に示すように、2 頂点を内接させたまま光変調画像 1 0 0 を右方向に移動させると、投写画像 2 0 0 は僅かに拡大される（同図（b）参照）。